

宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会 会議録

開催日時 令和2年12月4日（金）
10:00～11:15
場 所 さくらドーム21 視聴覚室

出席者

委 員 勝二 信隆、吉田 紀子、前田 菜穂 赤池 嘉久、荒井 一彦
事務局 山本課長、中橋課長補佐、北主任

欠席者

委 員 深井 典栄、蓮野 正彦、

（事務局）

この審議会は放送法第6条「放送事業者は、放送番組の適正を図るため、放送番組審議会を置くものとする」とされており、それに基づき開催するものです。

はじめに、「前町区長会副会長の山本 修委員」、「前町 PTA 連合会副会長の赤池 大輔委員」の退任に伴う委員の交代がありました。委嘱状の交付については、大変恐縮でございますが、お手元に配布してあります委嘱状により代えさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、寶達町長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

（寶達町長挨拶）【要旨】

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

ケーブルテレビ事業は15年目を迎えます。これまでの間、町の皆さんの様々な活動や行事を取材して放送してきました。地域に密着した番組づくりを心がけてやってきましたし、それをご覧になった皆さんにも知り合いや家族が出ていることもあり、親しまれるテレビになってきたのではないのでしょうか。

今年はコロナの影響もあり行事の中止等があった影響で取材に行きにくいということもありましたが、楽しみにしている人のためにいい番組を作りたいという思いでいろいろな人の協力を得て安全に考慮して番組制作を行ってきました。

本日は皆様方にはこれまでの事業についてご審議いただくわけですが、これまでも町民の皆様や審議会で様々な意見をいただき、よりよい番組作りを行ってきたと思っています。大変貴重な会議ですので皆様にはよいご意見を頂戴して、よりよい番組作りにつなげていきたいのでお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございます。寶達町長は他の公務もあるのでここで退席となります。

【町長退席】

それでは、ここで委員の皆様の紹介をしたいと思います。

【委員紹介】

次に事務局になります。

【事務局紹介】

(事務局)

次にこの会の会長、副会長の選出についてです。

(資料1)宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例 第5条に、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する」とありますが、事務局の方で選出指名させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

【委員 了承】

ありがとうございます。

会長は勝二委員、副会長は吉田委員にお願いしたいと思います。みなさんよろしいでしょうか。

【委員 了承】

(事務局)

ありがとうございます。会長の勝二委員には会長席の方に移動をお願いします。

【勝二会長、会長席に】

(事務局)

それでは会長の方から一言挨拶を頂きまして、そのあとは、会長が議長になって議事を進行することになっていますので、議事の進行もよろしくお願いいたします。

(会長)

会長を任せられました勝二です。任の重さを痛感していますが、皆様のご協力とご支援を賜り、この任を果たしていきたいと思いますのでお願いいたします。

さて、町ケーブルテレビ「さくらチャンネル」の放送開始から15年が経過し、町民のライフスタイルの一つとして親しんで観ていただいております。

町は、放送事業者として、放送番組の適正化を図り、内容の充実を努めることが大切であり、町の財政状況からも、加入率の向上を図ることが課題とされています。担当職員におかれましても、今後ますます職務に精励されることを期待しています。

なお、委員の皆様方におかれましても、これまで以上に視聴者の立場からこの会を通じて放送番組のあり方や放送の内容について、ご審議していただき、積極的な提言をしていただければと思います。この後も、よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、議件に入ります。

議件(1)町ケーブルテレビ放送番組審議会条例について

(2)町ケーブルテレビ放送番組基準及び放送番組の編成に関する基本計画について

て

(3) 自主放送番組（さくらチャンネル）について
の3件を一括して事務局から説明を求めます。

(事務局)

【議件（1）宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例について】（資料1）

審議会は町の条例に定められています。

（資料1に基づき審議会条例を説明）

【議件（2）町ケーブルテレビ放送番組基準および宝達志水町ケーブルテレビ放送番組の
編成に関する基本計画について】（資料2）

（資料2に基づき放送番組基準および編成に関する基本計画を説明）

(事務局)

引き続き議件（3）の自主放送番組さくらチャンネルについて説明します。

【議件（3）自主放送番組（さくらチャンネル）について】（資料3）

現在さくらチャンネルでは5つの番組枠を設けています。

（1）ぐるり宝達志水 30分

地域のニュース（1週間更新） コーナー番組（2週間更新）

（2）くらしの情報便 30分

行政情報番組（随時制作） 町の行事案内（1週間更新）

（3）ほっと劇場 60分

各種機関が制作した番組（2週間更新）

（4）さくらチャンネルアーカイブ 60分

以前に放送した番組の再放送（2週間更新）

（5）議会放送

町議会定例会の様子を録画で放送

放送スケジュール

1週間にぐるり宝達志水は平日は1日11回、土日は1日12回、くらしの情報便は平日に10回、土日は12回、ほっと劇場は毎日4回、アーカイブは毎日3回放送しています。また、平日は金沢ケーブル制作の番組を放送しています。

各番組が放送時間に満たなかった場合、文字放送を放送しています。

昨年度から、番組編成について見直しを行いました。

金沢ケーブル制作番組の放送時間見直し、番組の更新日時を金曜午前6時からに変更、議会放送は昨年12月議会からは夜に3日間、午前中に3日間放送に変更。また、文字放送についてもシステム更新を実施しました。

【令和2年度さくらチャンネル放送スケジュール】（資料4）

＜新型コロナウイルスに伴う番組制作への影響について＞

ニュースは4月10日頃までは制作できましたが、4月中旬から5月にかけては緊急事態宣言が出ていたため、その期間は取材をほとんどしませんでした。6月からニュースになる行事が出てきており、7月からはニュースの本数は通常の月と同程度となっています。

企画番組のうち、クローズアップは町内でのイベントが中止または規模縮小になり、中学校の部活動紹介も4月5月と学校が休校しており、6月以降も目標となる大会が中止になるなど部活動がどうなるか分からなかったため、制作は保育所運動会のみとなりました。

ワンダフルグループも予定していた撮影がキャンセルとなりました。

代替番組として、3月～4月までは番組の新規制作が難しいため料理教室や釣りなど過去に放送した番組の再放送、5月からは新型コロナに関するお知らせ、町長からのメッセージ、町出身の歌手新川二郎さんからのメッセージ、家の中でできる簡単なストレッチを紹介する「うちトレ」、通常は子育て支援センターで実施している「わらべうたの会」、通常は参加者とともに現地を散策する公民館講座の「ディスカバリーウォーク」などを放送しました。

＜番組制作について＞

ぐるり宝達志水のニュース、企画番組については基本的に全て外部に委託して制作しています。この本読んでみんちも、昨年度までは町で制作していましたが、今年度より委託制作となりました。

くらしの情報便も新しい番組について、ほっと劇場は宝たちの夢、議会放送はすべて業者に委託して制作しています。

（会長）

ありがとうございました。今ほど事務局から3件の案件について説明がありましたがこのことにご意見を伺いたいと思います。

＜加入率・加入促進について＞

（委員）

加入率はどれくらいか。

（事務局）

42.9%。ここ数年43%前後で推移しています。

（委員）

少ないですね

(事務局)

新築等で加入する人はいますが、一人暮らしの人が施設に入るなどの理由で加入解除する例もあり、43%前後で推移しています。町ではキャンペーンを行って加入促進を図っていますが、旧志雄町の山間部、かつて共同アンテナだった地区ではほとんど加入しましたが、電波状況のいいところでは加入率は高くありません。インターネットや電話も加入したうえで、ケーブルテレビに加入している人もいます。インターネットやケーブルプラス電話は金沢ケーブルのサービスですが、志雄町の山間部ではフレッツ光が来ていないため、インターネットに加入している人も多いです。

(委員)

加入率向上で町からの働きかけや今後の対策は何を考えていますか。

(事務局)

町では割引サービスを案内しています。集落等へ出向いてのPRする意見もあるかと思いますが、町のケーブルテレビは15年が経過しています。志賀町や中能登町は光ケーブルですが、宝達志水町は同軸ケーブルとなっています。8K放送を開始した場合に町のシステムでは対応ができません。施設の老朽化も進んでおり、加入者を増やして施設更新をしたいが費用がかかるため難しい面もあります。そのようなことも住民から言われる可能性もあるので出向くのは難しいです。さくらチャンネルでの宣伝もどうかと思っています。

体制が整い、光化が進んだ時には集落での宣伝を検討しています。

(委員)

PRは難しいかもしれませんが、重点的な地区を指定してPR、周知をしてはどうですか。万歳や新年の総会に出向くなどして、加入率を上げる取り組みが一つの案として必要ではないでしょうか。加入率が上がらないと立派な番組を作っても伝わりません。重点的に進めてはどうですか。

(事務局)

集落別の加入率のデータはありますので、それを見て対応を検討したいです。

(委員)

是非お願いします。

(委員)

赤池委員が言ったように、年配の方より若い方、新居を構えた人、宝達志水町に転入した人にターゲットを絞って加入促進を働きかけるのがよいと思いますので、そのような人に入ってもらいよう働きかけてはどうでしょうか。

(事務局)

宝達志水町以外から転入して新築住宅を建てた人には、企画振興課から住宅奨励金がでています。それを受けるためにはケーブルテレビの加入が条件としています。転入した人

はケーブルテレビに加入しています。

(委員)

いただいた DVD はよくできていると思いました。ディスカバリーウォークは面白かったと思いました。

私はわらべうたの会をやっていますが、臨機応変にやってくれていました。

今は難しい時期ですが、自分たちのものであるという意識があればいいと思います。できるかは難しいが学校の授業で映像を作ったりしており、それを流せませんか。学校と一緒にやってできないか、それができると面白いと思います。

(委員)

映像を作ると言うより、活動の様子を撮影してほかの学年に見せています。授業や行事を映している番組という感じではなく、地域の人に見せるような感じです。

(事務局)

そういう形なら、情報提供していただければ、この学年でこんな行事があったということを知ってもらうような行事であれば、町民の方が見るのは差し支えません。そういった情報が入れば撮影に行くことはできます。放送時間に制約がありますが、撮影については支障ありません。

(委員)

授業で映像や写真を撮ることをしていましたので、子ども達に映像を撮らせることができれば体験の意味がありますし、自分たちが撮ったものが放送できるといいのではありませんか。

(事務局)

ケーブルテレビでは出演 OK かという問題がありますが、それがクリアされれば全校でシリーズ化するなどして番組を作ることができます。

荒井委員、こういうことは可能ですか。

(委員)

内容によります。地域の方うんぬんというのは学校の活動を見ってもらうレベル。担任の裁量が多いです。高学年なら作ることも可能。ある程度見せる映像となりますと、それなりのものとなります。

(委員)

プロデューサーが必要。先生の仕事の中では大変になります。

(委員)

ケーブルテレビの方に指導してもらってはどうか。

(事務局)

町で編集は可能ですが、意図した編集ができるかが課題です。やりとりもありますし、先生の意図、生徒の意図もあるため、委託する業者に編集を委託するとなると大変。それがクリアできればおもしろいです。

(委員)

頭の隅に置いてもらえればと思います。

(議長)

宝達志水町で放送となるといろいろな問題があります。多くの人が見る内容になるのか難しいところもありますし、業者との関係もあります。

(委員)

大変だと思いますが、魅力的な番組のために加入率を上げてほしいです。

<番組内容について>

(議長)

番組のあり方に興味があるようですので、自主番組に関するご意見がありましたらお願いします。

(委員)

DVD をいただいて見ましたが、一番印象に残ったのがディスカバリーウォーク。少し気のつかないところを紹介するというのはいい企画だと思います。こういう企画がこれからいくつも出れば、皆さん関心を持てるでしょうし、行ってみたい、見てみたいと思うようになると思います。また、ワンダフルグループはいい企画だと思います。そこで、ディスカバリーウォークに関連して、町指定文化財がたくさんあります。先日、村御印が町文化財の指定を受けました。そういったものを知ってもらうことで、町指定文化財があることを認識してもらうのは大事ではないか、

それを放送することで、わかってもらうとともに、町文化財審議委員で点検しているが忘れられているところもあると思いますので、恒久的に残していかなければなりません。

これを1点ずつでもいいから紹介する番組があってもいいのではないのでしょうか。

職員名簿は個人情報で出ていませんが、各課でどんな仕事をしているか、わかっているようでわからない面があります。そういう各課の紹介があってもいいのではないのでしょうか。

(委員)

私も、ディスカバリーウォークに注目しました。小学校高学年や中学生にも見てもらいたいです。授業等で使えると思いました。町のイベント時に流してもいいのではありませんか。多くの方に見てもらう機会を設けてはどうですか。

学校関係者としては他校の活動の様子が参考になりましたし、ワンダフルグループもそれを見ながら入ってみようかという子ども達もいるだろうしスポーツイベントで流しては

どうですか。イベントで流す機会を増やした方がいいです。

(委員)

ディスカバリーウォークについて知られていない文化財が多くあると思いました。街道沿いの建物の映像をもう少し詳しく、近寄ってみるのもいいのではないのでしょうか。宝達川の天井川など、取り上げるところが多いのではないのでしょうか。加入率も気になりますし、町民のやっているところを紹介できればいいのではないのでしょうか。

(委員)

私もディスカバリーウォークが非常によかったと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

ディスカバリーウォークは文化財室の協力で制作しています。町指定の文化財もありますし、各集落においていわれがあるかと思うので取り上げられればと思います。

(議長)

番組を何回か見て、魅力ある地域作りの観点で見ると宝達志水町の人が見る番組だということで、知っているつもりの内容がほとんどだと思います。宝達志水町で生活していて知らなかったという点でためになる番組が多かったです。

ディスカバリーウォークの内容は専門的でよかったです。おもしろいかというともっとおもしろいところを入れることができたのではないのでしょうか。

見るだけでなく見た後に家族で話し合う、つながりを深めるようなケーブルテレビであってほしいと思いました。見るだけではなく、参加するようなことも必要だと思います。テレビを見ていて、そこへ行こうと思わせる働きかけを番組でできないかと思います。

(事務局)

現在のディスカバリーウォークは文化財室の人が出ていますが、同行者の感想を言うことは可能。番組制作は委託業者との間で話をしており、こんな企画の番組を撮って編集してほしいなどあれば、やろうと思えば可能です。

(議長)

郵便局との連携については、つながりが作れないか家族で話し合いができてよい番組になるのではないのでしょうか。ワンダフルグループはやっている人だけではなく、見ている人も一員となれないかというのがあればいいと思いました。

最後に、昔、町の民話をビデオや本にしたのがあったと思いますが、それをアニメ化できないのでしょうか。

(事務局)

現在、過去にカレンダーにしたものをふきのとうの皆さんが朗読していますが、アニメにするとすると難しいです。版画の絵を当て込むのが精一杯です。

(委員)

ディスカバリーウォークは1回だけか、シリーズ化するのでしょうか。

(事務局)

臼ヶ峰往来を2回目として放送しました。今後もできる限りシリーズ化して放送していきたいです。

(委員)

図書館に町内の歴史についての書物があります。上田の地誌や荻市などの地誌があります。郷土史を出しているそのなかに、興味のあるような内容があります。そういうものを取り上げてはどうですか。

隠れた素材を生かしてそれを放映するというのはどうですか。

<その他>

(議長)

同軸ケーブルと光ケーブルの違いは何でしょうか。

(事務局)

光ケーブルの方が伝えられる情報量が多いです。

(議長)

ほかはないでしょうか。

(事務局)

この審議会は年1回開催しています。来年度も11月下旬から12月上旬に開催したいと思っています。

(会長)

ほかに意見はありませんか、ないようでしたらこれで終わりたいと思います。

以上をもちまして宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会を閉会いたします。

11時15分 終了